



河川管理のお仕事

「洪水に備える点検訓練『一関遊水地陸閘操作訓練編』」

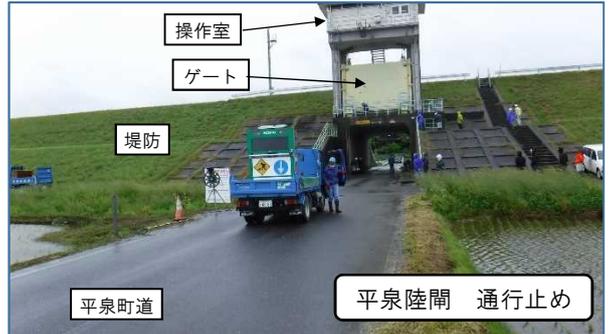
りっこう

ひらいずみ りっこう

一関遊水地の堤防には、中里陸閘（一関市中里字神明地内）と平泉陸閘（平泉町長島地内）の2つの陸閘が設置されております。市街地と遊水地を結ぶ市道や町道が、堤防で隔てられてしまうことから、通常時はゲートが開いていて、自動車などが通行出来るようにしているものです。ただし、洪水で遊水地が浸水してくるとゲート閉鎖して堤防の役割を果たす施設です。

当日の訓練は、まず最初に、ゲートの開閉のため、一般車両を通行止にします。（警察に届出済みです）

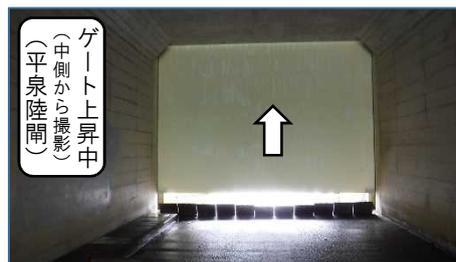
次に、ゲートが降りる道路面は、水密性確保のためゴムを設置していますが、そこには土砂などが溜まっているので、取り除きます。また、ゲートは通常時、地震などで降下しないように「ストッパー」で止めているので、それを外します。その後、ゲート降下で全閉にします。次に、全開にします。ゲートの上昇下降はゆっくり動くため、全開から全閉、全開まで、30～40分程度の時間が必要です。



ゲートの操作は、陸閘の操作室と一関出張所からの遠隔操作の2カ所から行うことができます。それぞれ1回ずつ「全開→全閉→全開」を繰り返します。

操作訓練では、施設の管理を行っている国交省だけでなく、市道（一関市）と町道（平泉町）ということもあり、自治体の職員も参加して状況確認などを実施しました。訓練では、特に支障なく動作確認ができたことから、本番時にも効果を発揮できると思います。

一関遊水地が浸水するような大きな洪水発生の場合には、事前に人や車両通行止、追出しのなどの避難を完了した後に、ゲート操作が始まります。道路通行や農耕作業にあたる方々においては、事前の情報収集を行い、十分な注意並びにご理解を頂くようお願いいたします。



国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 河川管理課

〒020-0066 岩手県盛岡市上田4丁目2-2

代表019-624-3131 直通019-624-3281 FAX019-624-3276